

授業科目

介護特論I

担当教員名 吉田 輝美	対象学年	1・2	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

対象者の特性、介護者及び家族についての理解、生活支援の方法、ケア計画の作成、ケア会議の実施方法、社会資源と地域ネットワークについて、ロールプレイ、事例研究を通して学ぶ。

授業の目的

1. 介護知識及び技術を客観的に検証できる。
2. 介護過程の考え方をを用いて個別援助計画を作成することができる。
3. 事例研究等を通して、特定の対象者への理解を深め円滑な支援が行えるようになる。

学習目標

1. 介護の知識や技術を文献や実際の道具を使って検証する。
2. 情報収集、アセスメント、目標設定、介護内容の決定といった一連の介護過程を行なう。
3. 対象者の疾病・障害を原因とする生活の困難性を理解する。
4. 対象者に対し、社会資源や支援方法によって支援展開をすることができる。
5. 支援の実際を試行し、その内容を検証する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	介護特論全体のオリエンテーション（現代社会における介護についての考え方の動向・介護技術の進展）	講義・演習
2	介護の知識や技術（対象者の状態像・要介護・要支援状態とは・要介護認定、障害支援区分認定）	演習
3	疾病や障害の理解（脳血管疾患による後遺症を持つ人の心身の状況・医学的な理解・生活面での理解、ICFを用いて）	プレゼンテーション
4	疾病や障害の理解（パーキンソン病の人の心身の状況・医学的な理解・生活面での理解、ICFを用いて）	演習
5	疾病や障害の理解（脊髄損傷の人の心身の状況・医学的な理解・生活面での理解、ICFを用いて）	演習
6	疾病や障害の理解（認知症の人の心身の状況・医学的な理解・生活面での理解、ICFを用いて）	演習
7	疾病や障害の理解（神経難病を持つ人の心身の状況・医学的な理解・生活面での理解、ICFを用いて）	演習
8	疾病や障害の理解（視力障害を持つ人の心身の状況・医学的な理解・生活面での理解、ICFを用いて）	演習
9	疾病や障害の理解（聴覚障害を持つ人の心身の状況・医学的な理解・生活面での理解、ICFを用いて）	演習
10	在宅の要介護者への支援の展開（支援の展開、サービス・制度、社会資源、支援の方法） 在宅で一人暮らしの脊髄損傷の人の生活を事例として取り上げて、サービスや制度、社会資源、他職種の連携の視点から生活の状況を分析する。	演習
11	在宅の要介護者への支援の展開（支援の展開、サービス・制度、社会資源、支援の方法） 在宅で一人暮らしの認知症の人の生活を事例として取り上げて、サービスや制度、社会資源、他職種の連携の視点から生活の状況を分析する。	演習
12	施設の要介護者への支援の展開（支援の展開、サービス・制度、社会資源、支援の方法） 施設において生活している障害をもつ人の生活を事例として取り上げて、施設サービスのあり方、社会資源の活用方法、他職種の連携の視点から生活の状況を分析する。	演習
13	疾病や障害をもつ人の家族の理解（介護家族の現在社会における状況・家族介護についての個人的な体験・介護家族を支援するための社会資源）	演習
14	在宅の要介護者への支援の展開（支援の展開、サービス・制度、社会資源、支援の方法） 在宅において高齢者二人で暮らしている認知症の人の生活を事例として取り上げて、サービスや制度、社会資源、他職種の連携の視点から生活の状況を分析する。	演習
15	支援が必要な人のための社会資源と地域ネットワーク、地域ケア会議の実際 現在新潟市において実施されている地域ケア会議の内容を事例として取り上げ、地域包括ケアにおける今後の課題を検討する。レポート提出	プレゼンテーション

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポートとプレゼンテーションによって評価する。

履修上の留意点

演習を中心として授業が運営されることから、参加するという意識で科目を履修してください。また、場合によっては介護についての技術を検証するため介護実習室で授業を行なうこともありますので、その場合は動きやすい服装と内履きを準備してください。この科目は、認定社会福祉士の認定単位の対象となる高齢分野専門科目の「対象者別科目」としての1単位を含むことが、認定社会福祉士認証・認定機構より認められた科目である。

オフィスアワー・連絡先

講義の際に問い合わせてください。